

いたします。

つきましては、環境問題に関する調査、分析、計画、管理等の一般論、特殊な問題、実際の経験、また、国際協力体験、海外の環境問題等の論文を自由に多数、ご応募下さいませようご案内いたします。

記

1. 開催期日：1985年8月27日(火)～28日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目無番地）
3. 申込要領：
  - ① 5月11日(土)までに和文約800字以内の内容梗概を発表者氏名(連名も可)、所属および連絡先とともに下記宛お送り下さい。  
土木学会環境問題小委員会(〒160/東京都新宿区四谷1丁目無番地、電話 03-355-3441 番、内線 161)
  - ② 発表論文は、応募論文数、発表時間等を考慮して環境問題小委員会が決定するのでご一任願います。決定次第ただちにお知らせします。
  - ③ 発表をお願いする場合は、土木学会所定の原稿用紙(2000字詰)6枚以内にまとめ、7月12日(金)までにご提出下さい。講演論文集は、この原稿をそのままオフセット印刷し、シンポジウム開催前に希望者には頒布します。

## 第10回海洋開発シンポジウムの開催

▶ 6月21日(金)～22日(土)◀

土木学会海洋開発委員会では、昭和53年に第9回を開催して以来、休止いたしておりました海洋開発シンポジウムを復活すべく検討を行い、この度、第10回の開催を企画し、論文募集を行いましたところ、34編という多くの論文応募をいただきました。海洋開発委員会では、海洋開発に関する研究、技術の進展とその成果の普及交流をはかるためこのシンポジウムを今後も継続して開催していく所存でございます。つきましては、同シンポジウムに多数ご来場下さり、活発な討議をお願いいたします。

記

1. 期 日：1985年6月21日(金)、22日(土)の2日間
2. 会 場：土木学会土木図書館2階講堂(国電「四谷駅」四谷口出口より徒歩3分、外濠公園内)
3. 主 催：土木学会(担当：海洋開発委員会)
4. 参加方法：自由参加
5. 論 文 集：当日実費販売(価格未定)
6. プログラム：(1論文原則として12分発表、討議は1論文10分を予定していますが、セッション内の進行は司会者に一任されております)

第1日目/6月21日(金)

- |             |  |                                       |
|-------------|--|---------------------------------------|
| 9:30～9:35   | 開会挨拶                                       | 海洋開発委員会委員長 酒匂敏次                       |
|             | 【プロジェクト・開発計画】                              |                                       |
| 9:35～10:41  | (1) 関西国際空港の建設について                          | 関西国際空港(株) 前田 進・古土井光昭・森 好生             |
|             | (2) ワイヤライン方式による大深層土質調査—関西国際空港建設のための土質調査—   | 運輸省港湾技術研究所 堀江宏保・石井一郎・善 功企             |
|             | (3) 大阪湾泉州沖地盤の力学特性                          | 運輸省港湾技術研究所 ○土田 孝・石井一郎・菊池喜昭・中島謙二郎・小林正樹 |
| 10:41～10:51 | 休 憩  |                                       |
| 10:51～11:57 | (4) 海面埋立土地造成における埋立地盤高の決定方法とその泉州沖埋立への適用について | 日本大学 川北光良                             |
|             | (5) 東京港横断道路の計画について                         | 日本道路公団 吉田光雄                           |
|             | (6) 阿賀沖北油田プラットフォームについて                     | 新日本海石油開発(株)新潟鉱業所 大塚 進                 |
| 11:57～13:00 | 昼食休憩                                       |                                       |
| 13:00～14:06 | (7) 沿岸海域の総合開発計画                            | 運輸省港湾局 豊田泰節                           |
|             | (8) 釜石港湾口防波堤の設計                            | 運輸省第二港建・横浜調査設計事務所 大塚晃一・上田 寛・小谷 拓・久米秀俊 |
|             | (9) 養浜工による海岸の面的保全と利用                       | 建設省近畿地方建設局 ○福井 照・時沢真一                 |
| 14:06～14:16 | 休 憩  |                                       |
|             | 【水および氷力】                                   |                                       |
| 14:16～15:44 | (10) 氷板との相互作用における円錐傾斜角と円錐直径の水平氷圧力に及ぼす効果    | 岩手大学 平山健一・小原一哉、宮城県庁 及川郁男              |
|             | (11) 垂直壁を有する氷海構造物に作用する氷荷重について              | 石川島播磨重工業(株)技術研究所 加藤一行                 |

- (12) 海洋構造物に用いられる材料の海水による摩耗について  
北海道大学 ○佐伯 浩・竹内貴弘, 大成建設(株) 浅井有一郎, 東海大学 泉 冽
- (13) 海水の透水係数に関する研究  
北海道大学 佐伯 浩・○竹内貴弘, 三井海洋開発 窪田 太, 水資源開発公団 五十嵐 昇
- 15:44~15:54 休 憩
- 【波浪エネルギーの利用】
- 15:54~17:00 (14) 沿岸域における波浪エネルギー利用計画試論 室蘭工業大学 ○近藤俊郎・渡部富治・谷野賢二  
(15) 沿岸固定式波力発電装置の開発  
海洋科学技術センター ○堀田 平・鷺尾幸久・石井進一・益田善雄・宮崎武晃・工藤君明  
(16) ふりこ型波力発電装置の最適システムに関する実験的研究  
関西電力総合技術研究所 ○阿河俊夫・藤田修一, 日立造船技術研究所 黒井昌明
- 第2日目/6月22日(土)
- 【構造物の開発・他】
- 9:10~10:16 (17) 浮遊式波浪制御構造物の水槽実験結果について  
海洋科学技術センター ○續 辰之介・浮田基信・石井進一  
(18) 浮消波堤の実海域実験 日本鋼管(株) 重工研究所 吉田常松・○磯崎総一郎  
(19) 浮防波堤の現地実証実験について  
運輸省第四港湾建設局 大隈正登・加藤英夫・江河直人・○中野敏彦
- 10:16~10:26 休 憩
- 10:26~11:32 (20) 浮体に及ぼす波による流体力について 大阪大学 榎木 亨・○青木伸一  
(21) 波力を受ける海洋構造物基礎粘土地盤の支持力に関する模型実験  
運輸省港湾技術研究所 大根田秀明・梅原増文・○善 功企・樋口嘉章・入沢一明  
(22) ジャックアップタイプのオイルリグの支持力 運輸省港湾技術研究所 田中洋行  
昼食休憩
- 11:32~12:30 休 憩
- 【資源】
- 12:30~13:36 (23) 海洋バイオマス農場の一設計考察 東海大学 長崎作治  
(24) 電磁石方式によるマンガンノジュールの開発に関する基礎的研究  
愛媛大学 稲田善紀・○横田公忠  
(25) 湧昇流制御構造物の開発に関する実験的研究  
水産庁水産工学研究所 上比征男・中村 充, 五洋建設(株) 技術研究所 渡 義治・森井伸正・○大竹臣哉・續 辰之介
- 13:36~13:46 休 憩
- 【環境・解析・他】
- 13:46~15:14 (26) 超低圧下での粘性土の圧縮・せん断特性  
鹿児島大学 春山元寿・○北村良介, (元) 鹿児島大学 齊藤雅子, 福岡県庁 入船時弘  
(27) 波浪作用下の海底地盤内の間隙水圧の特性  
舞鶴工業高等専門学校 ○前野賀彦, 京都大学 長谷川高士  
(28) 海洋構造物周辺の波高分布の数値解析法 中央大学 ○樫山和男・川原睦人  
(29) 海上工事中の濁り監視について—数値シミュレーションの適用性—  
運輸省港湾技術研究所 堀江 毅
- 15:14~15:24 休 憩
- 15:24~16:52 (30) 新型式防波堤の波浪時における振動特性と部材応力  
運輸省港湾技術研究所 ○横田 弘・清宮 理  
(31) 海洋構造物に対する電気防食の適用性 運輸省港湾技術研究所 ○横井聡之・阿部正美  
(32) プレストレストコンクリート部材の水中における疲労試験  
運輸省港湾技術研究所 横井聡之・大即信明・○大越康史・原茂雅光  
(33) コンクリート製海洋構造物での接合部の耐力評価  
運輸省港湾技術研究所 ○清宮 理・横田 弘・横井聡之  
海洋開発委員会委員長 酒匂敏次
- 16:52~17:00 閉会挨拶

第5回日本土木史研究発表会および見学会の開催 ▶見学会:6月27日(木)◀  
▶発表会:6月28日(金)~29日(土)◀

土木学会日本土木史研究委員会では、土木学会新潟会(関東支部)のご協力のもとに、下記日程にて「第5回日本土木史研究発表会」を開催いたします。また今回は、新潟大学にての開催ということから、発表会に先立って新潟地方の土木遺産の見学会も併催いたします。

会員諸兄の多数のご参加をお願い申し上げます。

主催:土木学会(担当:日本土木史研究委員会)

(A) 第5回日本土木史研究発表会

1. 日 時:1985年6月28日(金)~29日(土)

2. 会 場:新潟大学工学部(新潟市五十嵐二の町 8050)

[交通] 新潟駅よりバス(新潟大学前行乗車, 終点下車)が便利です(360円, 約45分)。

タクシーにて約35分(2000~2500円)。

6. 参加申込期限：1986年5月10日(土)12時
7. 申込方法：参加希望者は、勤務先、連絡先(電話番号とも)、氏名を明記して原則として現金書留にて下記宛にお申込み下さい。銀行振込の場合は、勤務先、氏名、振込期日をはがきにて下記宛ご通知下さい。  
銀行振込先：第一勧業銀行四谷支店 普通口座 1004632
8. 申込先：土木学会土木施工研究委員会 第2回建設におけるクレームセミナー係  
(〒160/東京都新宿区四谷1丁目無番地、電話 03-355-3441 番、内線 166)
9. セミナー内容：・Introduction・Contract Administration・Contracts・Contracts Workshop・Documentation  
/Record Keeping・Changes・Changes Workshop・Bondings・Delays・Claims Presentation,  
Negotiation & Settlement

## 第11回海洋開発シンポジウムの開催

▶6月19日(木)~20日(金)◀

下記により標記シンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加下さり、活発なご討議をお願い申し上げます。

なお、今回は、海洋開発、海洋空間利用構想についての関心が全国的に高まってきている状況に鑑み、研究発表に加えて、パネルディスカッション「わが省の海洋開発基本構想(仮題)」特別講演「東京湾横断道路の事業計画について(仮題)」と皆様方にとって興味ある企画といたしました。また、第1日目終了後、「懇親会」も実施することにいたしましたので、皆様方の多数のご参加をお願いいたします。

### 記

1. 期 日：1986年6月19日(木)~20日(金)の2日間
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：土木学会(担当：海洋開発委員会)
4. 参加方法：自由参加(当日直接会場へお越し下さい)  
ただし、今回は第1日目(6月19日)終了後「懇親会」を実施いたしますが、この「懇親会」については、参・否を下記7.項により「葉書」でいただくことになっておりますので、参加希望の方はお申込み下さい。
5. 論 文 集：当日会場で実費頒布いたします(価格未定)
6. プログラム：(1論文原則として12分発表、討議は1論文10分を予定していますが、セッション内の進行は司会者に一任されております)

### 第1日目/6月19日(木)

第一会場(講堂) 司会：脇，泉

9:10~9:15 開会挨拶 海洋開発委員会委員長 酒匂敏次

#### 【構想・計画】

- 9:15~10:21 (1) ひまわり海洋牧場構想について  
ラフォーレエンジニアリング/慶応大 森 敬、  
鹿島建設 ○山本治生、住友重機械工業 橋本泰明
- (2) 釜生漁港整備基本構想について 漁港漁村建設技研 坂井 淳・○遠藤正男・伴登昭夫
- (3) 海潟漁港(魚類養殖漁業漁港)整備基本計画について  
漁港漁村建設技研 根本清英・坂井 淳・○中村茂樹・樋谷純一

10:21~10:31 休 憩

【環境・エネルギー】 司会：吉田，門司

- 10:31~11:59 (4) 関西国際空港建設事業に係わる環境アセスメントについて  
関西国際空港 前田 進・古上井光昭・○三木 享・小原恒平
- (5) 白島洋上石油備蓄基地計画の環境アセスメント 間組 下村嘉平衡、同技研 ○沖 政和
- (6) 波力発電装置「海明」による実海域実験報告  
海洋科学技術センター 石井進一・益田善雄・宮崎武晃・工藤君明・○堀田 平・  
鷲尾幸久・統 辰之介
- (7) 落差を利用する揚水装置による発電の研究 福井工大 ○和田久範・笠 文彦

11:59~13:00 昼食・休憩

【設計・施工】 司会：伊藤，山下

- 13:00~14:06 (8) 信頼性手法によるシーバース稼働シミュレーション手法の開発  
鹿島建設 山本正明・○田辺寛明・松本 隆
- (9) バイブリッド・レグ型石油生産プラットフォームのケーソン沈設水櫃実験  
大成建設 ○田中 剛・中塚健司・池尻一仁・小林昭男
- (10) 大水深防波堤捨石マウンド築造に関する技術的検討  
(運)第二港建 ○外山進一・中川英毅・上園 晃

- 14:06~14:16 休 憩  
 14:16~16:00 司会:原田, 山本
- 【海洋開発構想】 パネルディスカッション  
 「わが省の海洋開発基本構想(仮題)」 運輸省港湾局技術課技術指導官 門司剛至  
 建設省河川局海岸課海洋開発室 脇 雅史  
 水産庁漁港部災害担当官 岸野昭雄
- 16:00~16:10 休 憩  
 16:10~17:10 司会:酒匂, 横山
- 【特別講演】 東京湾横断道路の事業計画について(仮題) 日本道路公団 常任参与 内田恵之助  
 第2日目/6月20日(金)  
 第一会場(講堂)
- 【地盤・耐震】 司会:横山, 蒔田
- 10:00~10:44 (11) 波浪による間隙圧の伝播特性による海底砂層地盤の土質特性の推定  
 舞鶴工業高専 ○前野賀彦, 京都大 長谷川高士  
 (12) 大水深海底砂地盤上の防波堤の大型模型波壊振動実験 (運) 港湾技研 ○上部達生・守屋正平
- 10:44~10:54 休 憩
- 【材 料】 司会:岡村, 太田
- 10:54~12:00 (13) 海洋鋼構造物継手部の信頼性疲労設計 九州大 大塚久哲  
 (14) コンクリート製海洋構造物での接合部の疲労強度 (運) 港湾技研 ○清宮 理・横田 弘  
 (15) 海水による各種コンクリートの摩耗に関する研究  
 大成建設 ○浅井有一郎・今野 潔, 北海道大 竹内貴弘・梶谷哲彦・佐伯 浩
- 12:00~13:00 昼食・休憩  
 【波浪制御構造物】 司会:伊藤, 鹿田
- 13:00~14:06 (21) 海洋空間創生のための海域制御構造物の開発  
 建設省土研 ○宇多高明・村井祐美・藤原隆一・松尾和男  
 (22) 低反射・透過型防波堤の設計と施工 (運) 第四港建 小蔵松一郎・口田 登・○足立一美  
 (23) マルチセルラー式防波堤の開発について  
 (運) 第三港建 ○小島明史・森脇敏雄・藤崎治男・岩田 望・難波喬司
- 14:06~14:16 休 憩
- 【波浪・海水制御構造物・浮体】 司会:門司, 脇
- 14:16~15:22 (24) 海水制御構造物の開発について  
 東海大(札幌校舎) ○泉 羽, 北海道大 小野敏行・浜中健一郎・山下俊彦・佐伯 浩  
 (25) 不規則波中の係留浮体の運動予測手法の適用性に関する検討 大阪大 榎木 亨・○青木伸一  
 (26) 浮遊式波浪制御構造物の水槽実験結果について 海洋科学技術センター ○統 辰之介・浮田基信
- 15:22~15:32 休 憩
- 【係留・浮体】 司会:加藤, 酒井
- 15:32~16:38 (27) 係留浮体の動揺特性とこれに及ぼす諸要因について  
 (運) 港湾技研 ○上田 茂・白石 悟・小瀬康文  
 (28) 浮遊式係留岸の動揺特性について (運) 第五港建 神田勝己・加藤久晶・伊藤昌英・○白石修章  
 (29) SALMWE 型ブイ係留タンカーの避泊実験  
 (運) 港湾技研 ○高山知司・平石哲也・古川正美, 三井海洋開発 佐尾邦久・奥野直哉  
 海洋開発委員会委員長 酒匂敏次
- 16:38~16:43 閉会挨拶
- 第二会場(5号室)
- 【流れ・波浪】 司会:酒井, 加藤
- 10:00~10:44 (16) 湾内流況制御実験(通) 工業技術院中国技術試験所 ○宝田盛康・上嶋英機・橋本英資・山崎宗広  
 (17) 酒田港における新構造形式による波浪観測について  
 (運) 新潟調査設計事務所 長田雅弘・○伊藤和一・三品欽治
- 10:44~10:54 休 憩
- 【外 力】 司会:水野, 太田
- 10:54~12:00 (18) 水中における円柱に作用する流体減衰力について 防衛大 林 建太郎  
 (19) 波力発電ケーソンに作用する波力について  
 (運) 和歌山港工事務所 小島史郎, (運) 港湾技研 高橋重雄  
 (20) 海洋構造物に作用する水力式の評価  
 パシフィックコンサルタンツ 中沢直樹, 北海道大学 竹内貴弘・小野敏行・佐伯 浩
7. 懇 親 会: 同シンポジウム第1日目終了後, 下記により「懇親会」を開催いたしますので, 多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。
- (1) 期 日: 1986年6月19日(木) 17:10~19:00  
 (2) 会 場: 土木学会土木図書館5号会議室  
 (3) 参 加 費: 3000円  
 (4) 申 込 方 法: 参加費は当日会場でお支払いいただきますが, 準備の都合がございますので, 参加希望の方は, 官製葉書で「第11回海洋開発シンポジウムの懇親会に参加希望」と明記の上, 下記宛お申し込み下さい。
- 申込先: 〒160/東京都新宿区四谷1丁目無番地  
 (社) 土木学会 海洋開発委員会 宛

時 間	演 題	6 月 15 日 (東京会場)	6 月 17 日 (大阪会場)	6 月 19 日 (福岡会場)
10:00~10:30	概 要	(九州工業大学) 渡 辺 明	同 左	同 左
10:30~11:30	総則および PC 板	(東京大学) 岡 村 甫	(京都大学) 藤 井 学	同 上
11:30~12:30	PC 合成床版の施工例	(富士ビーエス) 牧 豊	(オリエンタル) 橋 口 三 郎	(富士ビーエス) 牧 豊
13:30~14:30	材料, 施工, 試験および検査	(首都高速) 小 松 信 夫	(阪神高速) 水 元 義 久	(九州共立大学) 松 下 博 通
14:30~15:30	PC 合成床版の設計および設計例	(群馬大学) 辻 幸 和	(京都大学) 小 林 和 夫	(群馬大学) 辻 幸 和

## 第 12 回海洋開発シンポジウムの開催

▶ 6 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金) ◀

下記により標記シンポジウムを開催いたしますので、多数ご参加下さり、活発なご討議をお願いいたします。

なお、今回も「パネルディスカッション」等を企画し、皆様方にとって興味ある企画といたしました。また、第 1 日目終了後に「懇親会」を実施いたしますので奮ってご参加下さい。

### 記

1. 主 催：土木学会 (担当：海洋開発委員会)
2. 期 日：1987 年 6 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金) の二日間
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂・5 号会議室
4. 参加方法：自由参加 (当日会場へ直接ご来場下さい、参加費は無料です)、ただし、第 1 日目終了後「懇親会」を実施いたしますが、この「懇親会」については、参・否を下記 7. 項により「葉書」でいただくことになっておりますので、参加希望の方はお申し込み下さい。
5. 論 文 集：当日会場において実費頒布いたします (価格未定)
6. プログラム：1 論文につき原則として 12 分発表、討議 10 分を予定していますが、セッション内の進行は司会者に一任されております。

### 第 1 日目 / 6 月 18 日 (木)

#### 第一会場 (講堂)

- 10:00~10:10 開会挨拶 海洋開発委員会委員長 酒匂敏次
- 10:10~11:40 [波浪制御] 司会：伊藤, 山本
- (1) 複合消波機能を有する海域制御構造物に関する実験的研究  
建設省土研 宇多高明・村井禎美, 大林組 藤沢康雄, 日本大学 増田光一
  - (2) 半円形防波堤の開発について  
運輸省港研 谷本勝利, 半円形防波堤共同研究グループ
  - (3) 鹿児島港防波堤 (透過型) の水理模型実験について  
奥村樹郎, ○滑川伸孝・橋詰文伯・石丸敬純
  - (4) ブロック内臓双胴型ケーソンの水理特性について  
運輸省第四港建 木原 力・○成瀬 進・諸石一幸
- 11:40~12:40 昼食・休憩
- 12:40~13:45 [エネルギー] 司会：原田, 水野
- (5) 落差の交換装置による潮汐発電の研究 福井工業大学 ○和田久範・竺 文彦
  - (6) 可動受波板式波力発電装置のエネルギー変換効率に関する研究  
関西電力総合技研 玉置春夫・阿部 守, 関西電力 ○阿河俊夫
  - (7) 波力発電装置「海明」の発電性能について  
海洋科学技術センター 石井進一・宮崎武晃・○照田 平・鷺尾幸久・工藤君明・統 辰之助,  
緑星社 益田善雄
- 13:45~13:55 休 憩
- 13:55~15:00 [構 想] 司会：脇, 加島
- (8) 漁港を中心とした砂浜海岸の開発整備について  
水産庁漁港部 福屋正嗣, (財) 漁港漁村建設技術研究所 坂井 淳・○西 祐司
  - (9) 沿岸漁業資源の高度利用と漁港漁村の整備について  
(財) 漁港漁村建設技術研究所 根本清栄・坂井 淳・○池田 正
  - (10) 手結港マリン・タウン・プロジェクト 運輸省第三港建 米沢 朗
- 15:00~15:10 休 憩

15:10~17:20 [パネルディスカッション] フォーラム「ウォーターフロント」  
都市とリゾートの海洋空間開発をめぐる諸問題 (座長・パネラー検討中)  
17:25~19:00 懇 親 会

第 2 日目 / 6 月 19 日 (金)

第一会場 (講堂)

- 10:00~10:44 [波浪, 変形] 司会: 佐伯, 伊藤  
(11) 酒田港における水中浮体式観測塔による波向観測について  
運輸省第一港建 岩谷文方・宮本卓次郎・宮井真一郎  
(12) 斜波中における任意断面浮体まわりの波浪変形の算定法  
愛媛大学 中村孝幸・小野正順, 熊谷組 ○森田知志
- 10:44~10:54 休 憩  
10:54~12:00 [波浪変形, 波力] 司会: 酒井, 宇多  
(13) 数値計算による海域制御構造物の静穏域創出効果の検討  
建設省土研 宇多高明・村井禎美・藤原隆一・松尾和男  
(14) 流れと水深変化による波浪屈折計算モデルの実際海岸への適用 京都大学 ○酒井哲郎・村井和彦  
(15) 海洋構造物に作用する波力の実海域実験  
北海道開発局土木試験所 ○角野 隆・関野高志・水野雄三
- 12:00~13:00 昼食・休憩  
13:00~13:44 [浮 体] 司会: 宇多, 酒井  
(16) 大型浮遊構造物間の相互干渉に関する実験的研究  
海洋科学技術センター ○続 辰之助, 運輸省船舶技研 星野邦広・大松重雄  
(17) 船型ブイの模型実験および現地観測  
運輸省港研 ○高山知司・平石哲也・高山 優, 海洋科学技術センター 甲斐源太郎・中埜岩男
- 13:44~13:54 休 憩  
13:54~15:00 [波と土, 耐震] 司会: 浅田, 佐伯  
(18) 間隙圧の発達特性への砂層と水の境界付近のエネルギー損失の影響  
舞鶴工業高等専門学校 ○前野賀彦, 京都大学農学部 長川高士  
(19) 波による底泥の移動現象に関する研究 東京大学 ○柴山知也・佐藤謙司  
(20) 大水深混成式防波堤の強度観測および動水圧観測 運輸省港研 ○上部達生・土屋 肇・倉田栄一
- 15:00~15:10 休 憩  
15:10~16:38 [地質, 基礎, 施工] 司会: 松井, 鹿田  
(21) 音響による海底地質判別の研究 鹿児島大学 間庭愛信  
(22) 軟弱地盤着底式防波堤の現地実証試験について  
運輸省第四港建 木原 力・中井 盛・成瀬 進・吉本靖俊・池田 薫  
(23) 捨石マウンドの均らしと支持力の関係について  
運輸省第二港建 田中洋行・小谷 拓・高橋盛男  
(24) 人工島施工法の研究 日本海洋開発建設協会 北村浩行・小村嘉平衛・加藤敏夫  
閉会挨拶 海洋開発委員会副委員長 原田 宏

第二会場 (5号室)

- 10:00~10:44 [セメント, コンクリート] 司会: 太田, 岡村  
(25) 特殊水中コンクリートの性質と海洋工事への適用性  
大林組技研 十河茂幸・玉田信二・渡辺 明  
(26) 水中打設するソイルセメント工法に関する研究 大林組 喜田大三・久保 博・漆原知則
- 10:44~10:54 休 憩  
10:54~12:00 [海水と材料] 司会: 岡村, 太田  
(27) 海水による各種コンクリートの摩耗特性  
大成建設 伊藤喜栄・吉田 明, 北海道大学 佐伯 浩・佐々木広輝, 東海大学 泉 冽  
(28) 重防蝕鋼管の海水による摩耗に関する実験的研究  
新日本製鉄 佐藤光一, 北海道大学 佐々木広輝・小山浩明・山下俊彦・佐伯 浩  
(29) 重防蝕鋼管に対する海水の凍着強度に関する実験研究  
新日本製鉄 大槻富彦, 北海道大学 佐々木広輝・杉野文彦・小野敏行・佐伯 浩
- 12:00~13:00 昼食・休憩  
13:00~13:44 [魚 礁] 司会: 鹿田, 作田  
(30) 鋼製魚礁の洗掘と沈下について 三井造船昭島研究所 久宝啓作  
(31) 波無し浮体を用いた浮魚礁の波浪中特性 石川島播磨重工業 ○山下誠也・桜井清一・土屋 達
- 13:44~13:54 休 憩  
13:54~15:00 [海浜, 養浜, 環境] 司会: 門司, 原田  
(32) 離岸堤による海浜保全について 運輸省第三港建 ○徳田峯夫・福代倫男・佐藤 司・松本啓志  
(33) 神戸須磨海岸の養浜事業 神戸市港湾局 脇 茂行・○山本信行・山崎平弥  
(34) 人工干潟の海域環境改善効果 運輸省港研 竹下正俊
- 15:00~15:10 休 憩  
15:10~16:16 [環境, 汚濁防止膜] 司会: 作田, 水野  
(35) 呉湾における覆砂による試験工事とその効果について  
運輸省第三港建 ○桔川英明・武村莞爾・溝端堅市・柴田 悟  
(36) 流れの中に張られた汚濁拡散防止膜に及ぼす流体力と有効深さの計算法について

大阪大学 榎木 亨・青木伸一

(37) 半水深二重敷設汚濁防止膜の効果に関する研究

東京水産大学 ○加納 敬, 太陽工業 本城 豊・川本博文

7. 懇 親 会: 同シンポジウム第1日目終了後, 下記により「懇親会」を開催いたしますので, 多数ご参加下さいますようお願いいたします。特に, 講演者の方々が多数ご参加下さることをお願いいたします。

(1) 期 日: 1987年6月18日(木) 17:25~19:00

(2) 会 場: 土木学会土木図書館5号会議室

(3) 参 加 費: 3000円

(4) 申 込 方 法: 参加費は, 当日会場でいただきますが, 準備の都合がありますので, 参加希望の方は, 官製葉書で「第12回海洋開発シンポジウムの懇親会参加希望」と明記の上, 下記宛お申込み下さい。

(5) 申 込 先: 〒160/東京都新宿区四谷一丁目無番地 社団法人 土木学会 海洋開発委員会

第21回土木計画学シンポジウム

「地方都市の交通を考える」シンポジウムの開催

▶ 6月24日(水)~25日(木) ◀

都市では, 公共交通と自動車交通の両者が相まってその活動および機能を支えている。しかし自動車交通の増加に伴い, 公共交通と自動車交通との役割分担の上で, いくつかの難しい問題が生じている。それは, 路面交通の停滞によるバス輸送の不振や, 高速鉄道および新交通システムの建設とその運営問題などに生じてくる。地方都市では, この問題が大都市よりも先鋭化した形で出現することが多い。

土木学会土木計画学研究委員会(委員長:菅原 操)では, このような状況を踏まえて「地方都市交通研究分科会(代表:花岡利幸)」を組織し, 研究を進めてまいりました。その成果を踏まえて, 標記シンポジウムを下記日程にて開催いたします。本シンポジウムは, 地方都市の交通課題とその解決の道を探るものとして, 実務に即した内容を予定しております。会員のみならず, 各自自治体の行政担当者および広く斯界の方々の多数のご参加をお願い申し上げます。

記

1. 主 催: 土木学会(担当:土木計画学研究委員会)
2. 期 日: 1987年6月24日(水)~25日(木)
3. 会 場: 土木学会土木図書館講堂(JR・地下鉄「四谷」駅下車)
4. 参 加 費: 6000円(テキスト代を含む)
5. 申 込 方 法: 参加希望者は, ①氏名, ②勤務先および職名, ③連絡先, ④会員種別, をB5判用紙に明記の上, 参加費を添えて, 現金書留にて下記宛てお申込み下さい。なお, 銀行振込, 郵便振替の場合にも上記①~④を明記の上, お申込み下さい。  
郵便振替: 東京 6-16828  
銀行振込: 第一勧業銀行四谷支店(普)1004632 社団法人 土木学会
6. 申込締切期日: 1987年6月10日(水)
7. 定 員: 150名(定員になり次第締切らせていただきます)
8. 申 込 先: 〒160/東京都新宿区四谷一丁目無番地 土木学会 第21回土木計画学シンポジウム係  
(電話 03-355-3441 番, 内線 155)
9. プログラム:

第1日目/6月24日

午前の:	司会: 森 弘(北見工業大学)	
9:30~9:40	開会あいさつ	土木計画学研究委員会委員長
9:40~10:00	地方都市問題研究会の活動報告	花岡利幸(山梨大学)
10:00~10:30	交通は地域振興の起爆剤になりうるか	榎木 武(九州大学)
10:30~11:00	地方都市に公共交通は可能か	竹内伝史(中部大学)
11:00~11:30	コメント	森地 茂(東京工業大学)
11:30~12:00	討 論	
12:00~13:00	昼食・休憩	
午後の部	司会: 定井喜明(徳島大学)	